

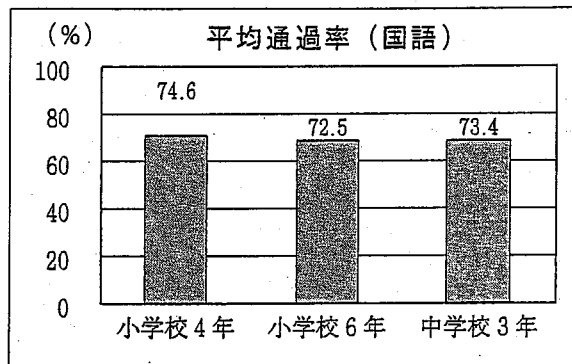
2 各教科の結果概要

(1) 各教科の平均通過率（学年別）

設問ごとの通過率を各教科及び学年ごとに集計し、平均を比較した結果である。小学校では、国語が7割、算数が8割を超える通過率であり、基礎・基本がおおむね定着している状況にあることがわかった。また、中学校では、国語は7割を超えており、基礎・基本がほぼ定着している状況にある。数学・英語においては、基礎・基本がほぼ定着している領域もみられるが、平均通過率が7割に満たないことが分かった。今回の調査では、基礎的・基本的な内容について出題していることを考えると、「基礎・基本」の定着に対する一層の取組が必要である。

【国語】 (単位：%)

	平均通過率
小学校 第4学年	74.6
小学校 第6学年	72.5
中学校 第3学年	73.4

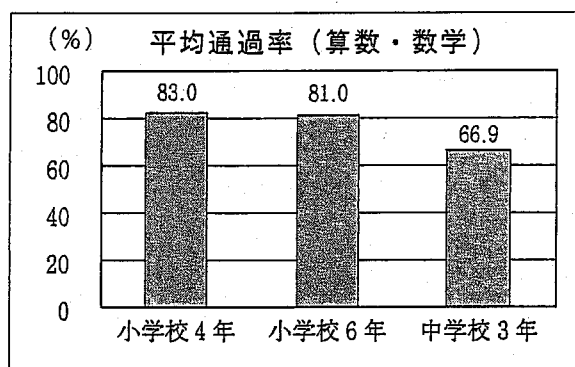


(考察)

どの学年も70%以上の通過率であり、学年による差異は、あまりみられなかった。一般に学年が進むにつれて通過率が下がる傾向があるのではないかと予想していたが、中学校の定着率が下がっていないことが特徴としてあげられる。

【算数・数学】 (単位：%)

	平均通過率
小学校 第4学年	83.0
小学校 第6学年	81.0
中学校 第3学年	66.9



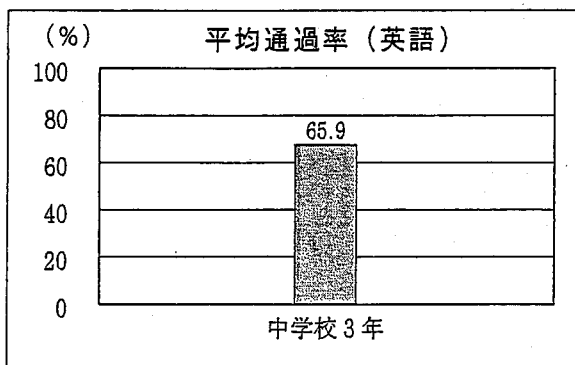
(考察)

小学校は80%を超える通過率であるが、中学校は67%の通過率である。

出題範囲が異なるため単純に比較することは難しいが、各学年とも発達段階に応じた基礎的な学力を問う問題が多く占めていることを考えると中学校においては領域によって差がみられるものの基礎学力の定着に課題がみられる。

【英語】 (単位：%)

	平均通過率
中学校 第3学年	65.9



(考察)

最高通過率が98%、最低通過率が38%と設問によって開きがみられた。

他教科と異なり、小学校のデータが無く単純な比較はできないが、平均通過率が66%であることを考えれば、通常の授業等において基礎学力の定着に向けた指導方法の改善に努め、当面、70%以上の定着率を目指して積極的に取り組むことが望まれる。